

シルバー文化展

過去最高の来場者でにぎわいました

出展者 75名（会員33名、一般42名）
 作品数132点（会員63点、一般69点）
 来場者610名

シルバー文化展は例年どおり、地域交流を進める為に一般作品展示をいれて、10月3日から6日までの4日間開催しました。

精華町長はじめ、出展関係者等の来場もあり、来場者数610名は「過去最高の記録」となりました（ちなみに昨年の来場者数は467名でした）。

特に今回から、従来の運営委員に加えて各文化クラブ（書道、楷書、絵画、手芸）の皆さんもボランティアとして加わり開催準備にご尽力をいただきました。

また今回は一般からの参加が出展者数・作品数とも会員を超え、本当の意味で地域社会に認知していただいたと実感いたしました。年に一度の文化展への出展を生きがい、励みに制作しているとの声もあり、うれしい限りです。

さらに今回から、「ふるさと発見の旅～秋～」や「シルバーの日ボランティア募集」のポスターを掲示し、センター情報の発信場所としての役割も加わりました。



シルバー文化展の運営委員をしてきて

久保常代(馬淵)

第1回文化展から運営委員をしてきました。

初対面の会員と交流ができる事はたいへん充実感がありました。

第2回から精華町内の一般高齢者の方々の作品が少しずつ加わり、さらに運営委員で「オブジェ」を制作することにしました。

来場者がシルバーの作品を見て、なにかしらの元気のパワーを感じていただけたら！の思いからです。自身の励みにもなりました。

今年7回目はすべてボランティア活動で運営、開催することに委員全員で決めました。

「ぜひ、成功させたい」と春から準備を始め、夏の酷暑も無事超え、開催することができました。もちろん気心の知れた委員仲間と各クラブの協力委員、会員ボランティアの方々の働きがあつてのことです。

私は登山が趣味で毎年重いリュックを担ぎ、あえぎながら頂上を目指します。

その間ずっと「来年はこんなしんどいのはやめるぞ！」と心の中で叫んでいます。

なのに下山時には次の山の計画をしています。

文化展が終わると毎回その時の気持ちを思い出します。

たくさんの楽しい思い出をありがとうございました。

